

Time goes by.



札幌市医師会
内科・胃腸内科平岸台クリニック

宮崎 広 亀

ある多忙な秋の日の診療中に、道医師会から突如届いた北海道医報新年号「新春随想」の原稿依頼。何事かと依頼書の文面に目を通してみれば、「新年の年男・年女に当たられます会員各位の中より無作為に選ばせていただいた」そうで、選んだ側がわざわざ「無作為」というのだから、選んでいただいて光栄であるとか、名誉であると感じる必要は特になさそうだ。

年男として新年の抱負を求められたとて、普段の年と何ら変わることはない。北海道医報のバックナンバーを紐解いてみると、還暦を迎えての感想を述べている先生方が多い。筆者は11年前に37歳で現在の診療所を開業し、今年48歳を迎えることになる。まだ人生の節目を語る年齢ではないと思うが、開業から現在までの間に干支がほぼひとまわりしたのかと思えば感慨がなくもない。

思えば開業直前に習慣性膝蓋骨脱臼の手術を受け、満足に歩くこともできない状態でのスタートであった。考えていた以上に筋力回復に時間がかかったためである。道を歩いても高齢のご老人にすいすいと追い抜かれ、道路を横断するときには青信号の点滅に恐怖を感じたものだ。そのうちにであろうとか、治りにくかった術後の創部からMRSAの排菌があり、その治療のために足繁く病院に通院しながら診療を続けていた。担当医からは再入院を強く勧められたが、少なからぬ借金を抱えて開業してしまっただけで、スタートでいきなりつまづくことは生活の破綻を意味する。なんとか通院での治療をと食い下がるわがままな私の希望を汲み、最後まで根気強く面倒を見てくださった主治医の先生にはいくら感謝しても足りないと思っている。頼りなかった膝の調子もその後は年々回復し、現在では元気にテニスも楽しめるようになっている。成績はまだまだであるが、念願の大会出場も果たすことができた。健康でいられることはつくづくありがたい。

病气やけがで休診することは一度もなくここまでやってきた。気が付けば開院時にリースを開始した医療機器はほとんど入れ替わり、職員も、通院されている患者さんもめまぐるしく入れ替わっている。開院当時まだあどけなかつた息子はもう高校生にたろうとしており、すっかり生意気盛り。時の流れの速さには今更ながら驚かされるばかりだ。思いがけない原稿依頼をきっかけに、ふとそんなことに気付かされた次第である。

上が新人類世代、 下が団塊Jr世代



小樽市医師会
青柳皮膚科医院

青柳 哲

われわれ1969年生まれば、今年48歳の年男だそうです。前は大学勤務の真っ只中で、ちょうど海外にいた時期でしたのでほとんど意識していませんでした。それからの12年間で、子どもたちが生まれ、大学を辞めて、開業してと公私ともにガラッと状況が変化しました。

さて、生まれ育ってきた時代の違いによる各世代の特徴がメディアなどで時々取り上げられます。よく知られているのは団塊の世代とか、最近ではゆとり世代とか。それによると私は、バブル世代の最後ら辺に該当するようです。

バブル世代とは、バブル景気の時に就職した1960年代後半生まれで、就職時の売手市場にて正規雇用率が高かった世代のことです。コミュニケーション能力が比較的高く、自分への高い評価を望む傾向がある一方、金銭感覚がバブル時代のままという耳が痛くなるような特徴が挙げられています。さまざまな文化の流行やファッションを生み出し、欧米文化への憧れが強い世代ともいわれています。

自分自身を振り返ってみると、確かに当たっている部分があります。小学生時にスーパーカーブームがあり、中学生になる頃はアイドルブームや、なめ猫などのツッパリが流行り、校内暴力の全盛期でした。高校に入ると、ユーロビートとディスコ、DCブランドが流行り、そして大学に入学する頃には、すっかりバブリー全盛な世の中でした。周りにはビーエムや小ベンツなどの外車が溢れ、アッシーやメッシーという流行語も生まれ、ビールよりもカクテル、お立ち台でパラパラを…。今と違って、ニッポンの未来は明るいついて感じて、お気楽な毎日を送っていたものです。

しかし、卒業する前にはバブルは崩壊し、その頃から、居酒屋やカラオケボックスなどが定番となりました。卒業した年には、阪神淡路大震災と地下鉄サリン事件が起こりました。こうしてみると、20年ほどの間に時代や流行の変化が次々と目まぐるしく起こり、それを社会に出るまでの感受性豊かな時期に経験したというのがバブル世代だと思います。

そのおかげで、この歳になった今でも、買い物ではプレミアムと付くものに弱いし、ついブランドを気にしてしまいます。年甲斐もなく、〇〇ブームが来ればそれに乗っかります。そして、大統領が誰であろうとアメリカには今も憧れています。やはり、私はバブル世代の特徴にピッタリ一致しているようです。